

地域ネット活動報告

ひだか市民ネットワーク 教育についてのトークセッション

8月6日(火)狭山運動グループ協議会主催の「凜りん茶会：暮らしと政治はつながっている」にひだか市民ネットワークの代理人：成田奈緒子さんが登壇しました。今回は教育をテーマに、入間市の市議会議員：町田健治氏とのトークセッションを行いました。お2人の話から「学校は一人ひとりの能力を高める場・学びの楽しさを伝える場」という認識、また、学校は子どもにとって、「教育を受ける権利であって、義務ではない」という視点、大人が



理解していないケースも多い点に共感しました。ひだかネットが市議として擁立した成田さん。6人の子どもの育てる母であり、また、生活を支える主婦として「生きやすい社会こそ教育にある」という想いを参加者と共有しました。

理解していないケースも多い点に共感しました。ひだかネットが市議として擁立した成田さん。6人の子どもの育てる母であり、また、生活を支える主婦として「生きやすい社会こそ教育にある」という想いを参加者と共有しました。

よしかわ市民ネットワーク 旭小学校の統廃合問題～民主的な討議の場を

ここ数年、吉川市立旭小学校の生徒数が減少傾向にあり、対応策が課題となっていました。2028年度を目途に関小学校に統合される案が決定されました。「市長キャラバン」などで、市長が市民の意見を聞く機会があったものの、教育委員会において議題に上ったのは今年2月が初めてで、その場で統合案の承認が行われました。

代理人の岩崎さゆりが、6月市議会の一般質問で、論議の過程が不明瞭であることを質しました。それ以前の教育委員会では、統廃合に関しては議題には上げず、「会議後に議論を深めた」そうで、議題に無かったため議事

録が残っていないという驚きの答弁でした。

「学校の未来をもっと丁寧に話し合ってください」という署名が、保護者や住民有志により始められ、共に取り組んでいます。



市は、9月市議会に統廃合案を上程する予定のようですが、今一度立ち止まり、民主的な協議の場を設けることを求めます。

はにゅう市民ネットワーク CAPおとなワークショップ 開催準備中 ～子どもたちの心とからだを守るためにできること～

11月6日(金)10時から12時ワークヒルズ羽生にて、子どもたちの大切な心とからだをあらゆる暴力から守るための予防教育プログラム「CAP(子ども暴力防止)」を学ぶ、CAPおとなワークショップを開催します。子どもが健やかに生きるために欠かせない「安心・自信・自由」の権利について理解を



深め、暴力に対して子どもが「いや(NO)」と言える力を信じて支えるための、おとなの具体的ななかかわり方をお伝えします。否定や評価をせずに子どもの話をしっかりと聴くコツなどをご紹介します。

また、はにゅう市民ネットではさいとう万紀子さんが市長選にチャレンジし、当選しました。市民の期待を担って誕生した斎藤市長。はにゅうネットは、これからも多くの市民の声を届けていきます。

埼玉県市民ネットワークでは地域ネットごとに様々な調査研修活動を行い、市政に繋げています。今回はその一部をご紹介します。

まちネットワークよりい 「ともかく会っていっぱい話そう！」

まちネットワークよりい「会って話そう」を今年のテーマにしました。町の課題は山盛り。人口3万人、高齢者1万1000人という高い高齢化率、町内の移動手段がほぼ自家用車という現実。そんな中で顔を合わせて話す事で様々な思いを聞き、自分の考えを確認し、時に改める、そして共感や問題意識の共有を大切に



したいと考えました。ともかく楽しく集まろうと小川町下里分校で有機野菜ランチと野の花咲く槻川沿い散策や、地域コミセンでクレープを焼く集いを企画。肩の力を抜いて、わが町の、この国の、この社会の事を、紛争、分断、格差、排外、気候危機、食の安全…気になっていることなんでも話せる機会とし、私たちに出来ることに繋げていきたい。「会って話そう」はその一歩。今後も継続しながら仲間づくりにも繋げていきたいと思っています。

越谷市民ネットワーク 越谷花火大会に出店！

越谷ネットの事務所が花火大会の会場前にあることもあり、ここ数年は毎年出店しています。有機農業を行っている松島農園との繋がりからジャガイモを購入し、じゃがバターと玉こんにゃくを販売しました。花火が始まる直前まで事務所には直射日光が当たりクーラーも効かない室内でジャガイモをゆでる作業は大変でしたが、ネット支援者の会員さんたちも手伝いに来てくださり、和気あいあいと準備することができました。



私たちは無農薬で育ったジャガイモを皆さんに食べて頂きながら、この花火大会が平和の中で続いてほしいと願い、こうした活動が続けられたらと思いました。事務所に人が集まり、地域の人たちとの交流を大切にしながら、少しでも活動に共感できる人を増やしていけたらと考えています。

くまがや市民ネットワーク準備会

「本当の食」とは？～ゲノム編集食品表示を求めよう～

5月24日(日)に熊谷市立商工会館にて講演会を開催いたしました。日本消費者連盟の天笠啓祐氏をお迎えし、質疑併せて約2時間、みっちりお話を伺うことができました。



遺伝子をちょん切ってしまうゲノム編集。遺伝子組み換えもさることながら、その技術はとどまることを知りません。それを良しとするか、否か。まずは表示されなければ選ぶことも

できません。知識を育み、選択肢の中から選んでいく。当たり前なようで、忘れがちな、大事なこと。改めて意識していきたいと思いました。

くまがやネットも、講演会を経て一人ひとりのメンバーが意識を高めようと会議から積極的な姿勢を見せるようになりました。老若男女問わず活動している団体だからこそ、これからもこの姿勢や熊谷への思いを強く持ち、活動してまいります。

今後は、代理人運動の学習会や熊谷への活動をより強くしてまいりますので、今後の活動にご期待ください。